

施設の特徴

本施設は、京都との県境トンネルを抜けてすぐの場所に位置し、福井へ入った瞬間に広がる海の景色は、福井県のイメージを決定づける玄関口です。

「この地を活かして「福井の魅力」を高める事」
それが私の目標であり、当社の任務だと考えております。



エントランス



ロビー



DX201リビング



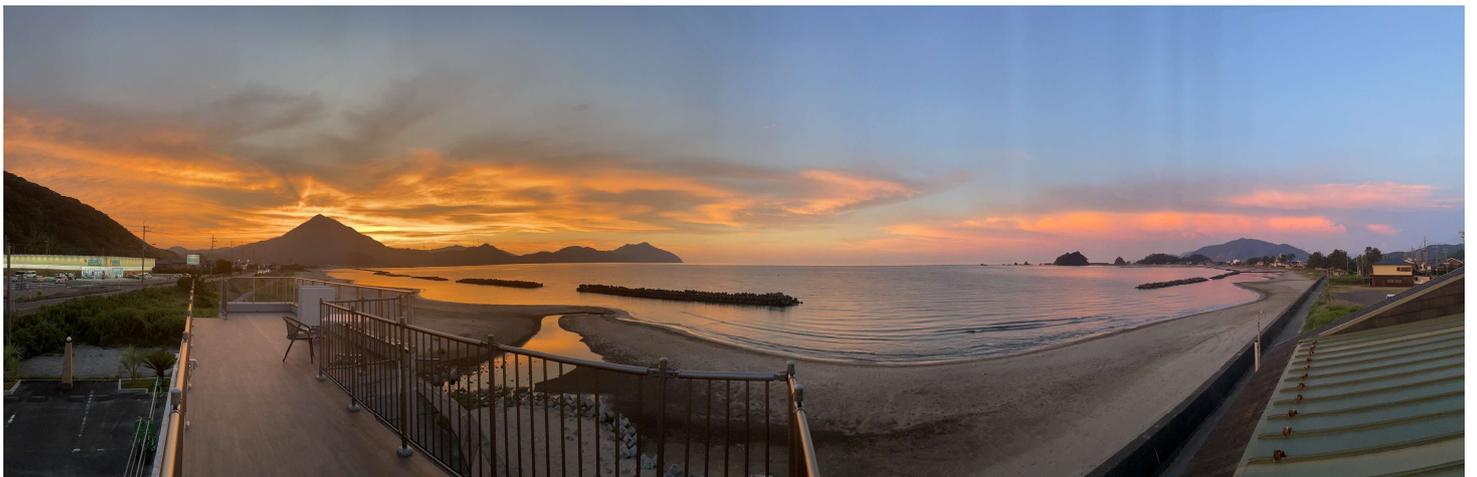
Suiteリビング



タラソテラピーブース



全室オーシャンビュー





STELLAR WORKS

当施設の家具



DESIGNED BY
Neri&Hu



Mr.B (ミスタービー) は古いものと新しいものがシームレスに融合し、豊かな歴史が現代の生活と共存する上海の象徴、外灘 (バンド) からインスピレーションを得ています。現代的な美しさを表しながら、伝統的な古い文化の影響が細部に複雑に織り込まれています。

このコレクションでは、伝統的な木工技術から生まれた頑丈な木の構造と工業的なメタルのディテールが融合しています。仕立ての良い張り地は、すっきりとしたラインと快適な座り心地を提供します。



DESIGNED BY

Tom Fereday

Crawfordでは、ソファ、ベッド、テーブル、ダイニングチェアを展開しています。それらのデザインは、ステラワークスの哲学と同じく、アジアの感性を重視しつつ、その感性を西洋の視点から再解釈したものになっています。香港の老舗デパート、レーン・クロフォードと協働したことにより、アジア太平洋地域で高まっているデザインムーブメントを重視した文化の融合をコレクションに取り入れることができました。トム・フェレデイのデザインの特徴は、天然素材と手触りのよい仕上げ、さりげない上品さです。



DESIGNED BY

Space
Copenhagen

Slowは、コペンハーゲンにあるレストラン「108」のためにデザインされたチェアにインスパイアされたコレクションです。スリムなシルエットを追求した、レザー張りが美しい木製家具を展開しています。コレクションの特徴となっているのが、デンマークのミッドセンチュリーと日本の伝統的な意匠の完璧な調和を実現している脚部分です。モダンで快適でありながら、タイムレスで流れるようなデザインには、伝統と技術へのトリビュートが込められています。優れた職人技でつくられたこれらの家具には、高品質のウォールナット材やオーク材、最上級のすわり心地を実現する厚手のレザーが用いられています。ディテールとフォルムを堪能してもらうために、装飾は最小限に抑えられています。

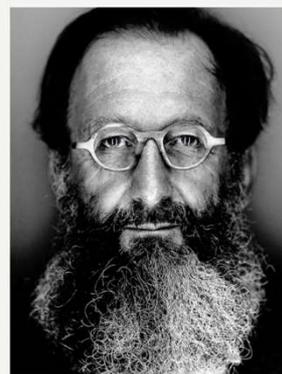


DESIGNED BY

Jens Risom

ステラワークスは、籐製の背もたれのオリジナルのC140と、クッションの背もたれのC142を復刻しました。アイコン的なC140は、リンドン・B・ジョンソン大統領時代のホワイトハウスでも使われ、C140に腰かけて1964年の公民権法と1965年の高速道路美化法に署名する大統領の写真が残っています。

2022年、このイェンス・リソムデザインコレクションに新たに作品を加えました。ミッドセンチュリー全盛期の作品であるこの6つの新モデルは、リゾムの美学を代表するものであり、時代を超えた彼の作品の永遠のクオリティを証明するものです。



DESIGNED BY

**Michele De
Lucchi**

ステイ・コレクションは、自然に対する感性を表現し、工業製品としてのデザインとは全く異なる発想で作られた個性的なコレクションです。

ステイチェアの遊び心のある有機的な構造は、余分なものを排除した結果であり、四つ葉のクローバー型の座面は自然の造形美がモチーフとなっています。また、2本に分岐した脚は、チェアにソリッド感と優美さを与えています。ステイ・ダイニングテーブルは丸い天板で、テーブルの中央には、4つの木材が継ぎ目なく配置され、洗練されたベベル（斜面）デザインが施されています。脚部は2本に分岐しており、木を連想させるとともに、安定感をもたらしています。

当施設の寝具について

Suprelle™ blue

STOP
OCEAN
PLASTIC



海洋プラスチック削減と貧困削減への取組

海洋プラスチック問題のクローズアップ

毎年800-1,000万トンものプラスチックごみが海に流れ出ていると言われて
います。毎日毎分トラック1台分が海に流れていることとなります。
このゴミがウミガメやクジラなどの海洋生物を苦しめているのです。



今、私たちが行動を起こさないと、2050年までに陸の重より
プラスチックごみの方が多くなってしまいうかもしれません。

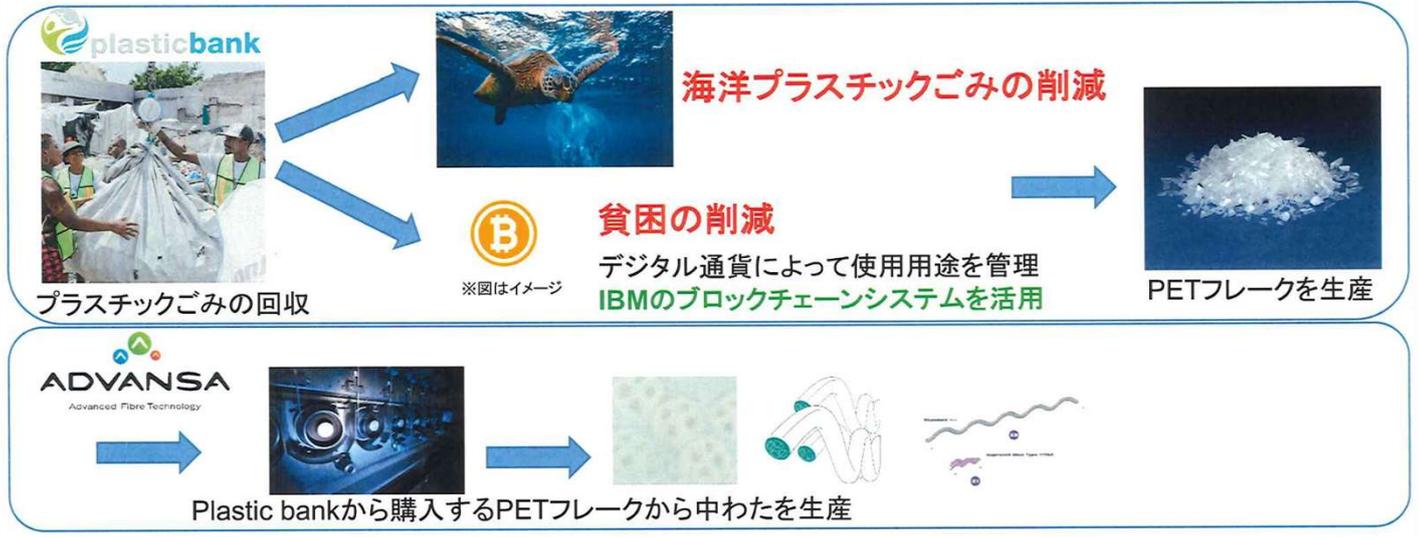
➡ 1分間に約15トンものプラスチックごみが海に流出している。



Suprelle™ blueとは

- Plastic BankとADVANSAの提携により誕生した中わた。
- Plastic Bankとは、「海洋プラスチックの削減と貧困の削減」に取り組む団体。

沿岸国の貧困層の方々に海洋プラスチックを回収してもらい→「**海洋プラスチックの削減**」
 生活必要資材、食料や教育に使用できるデジタル通貨と交換する→「**貧困の削減**」



Suprelle™ blueで可能になること

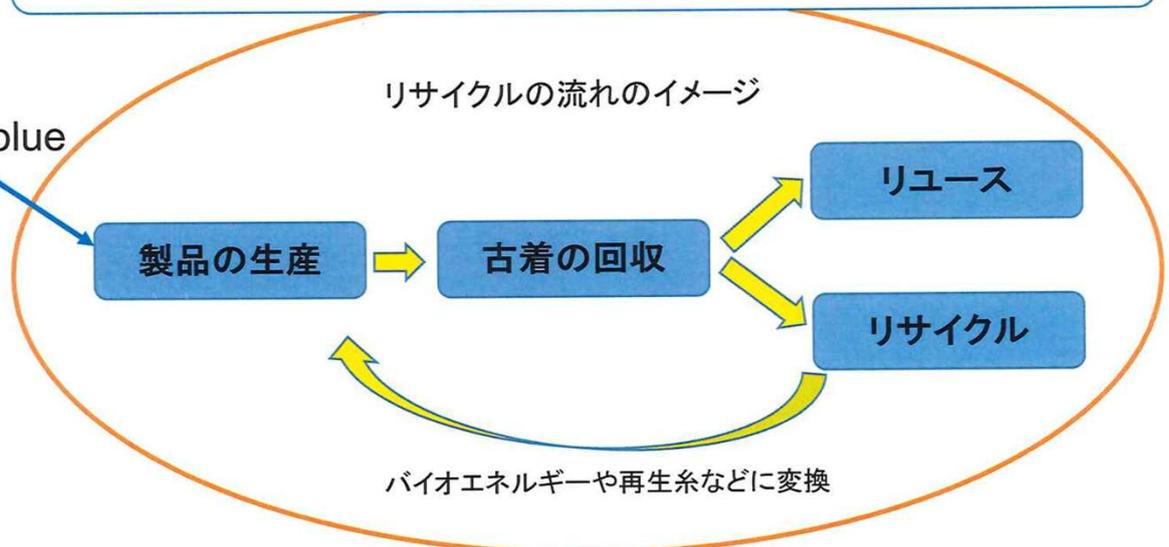
最初に販売されている製品の中わたは、どこから来たのか？



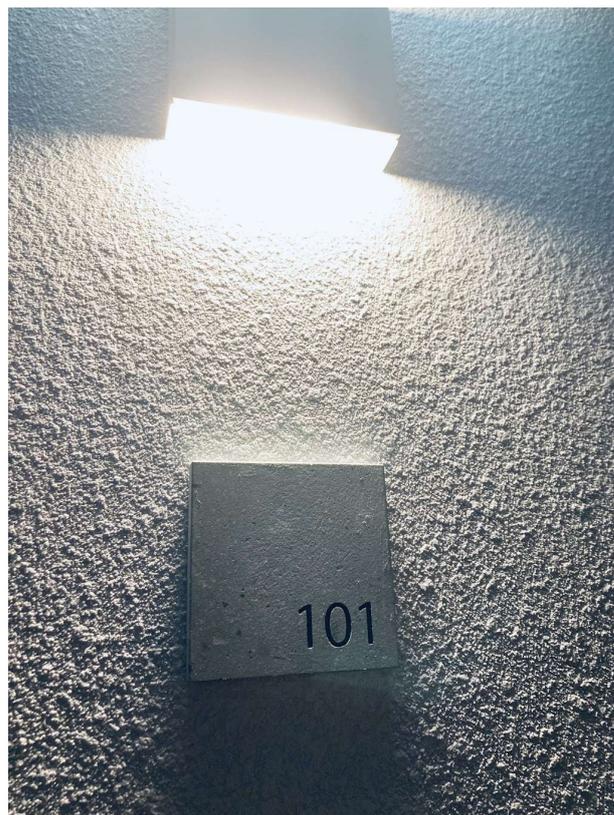
Suprelle™ blueを使用し、リサイクルの循環が始まる前から、原料のリサイクルに取り組み、**地球規模でリサイクル**を循環させる。



Suprelle™ blue



部屋の表札に笏谷石を使用



笏谷石（しゃくだにいし）は、主に福井市の足羽（あすわ）山一帯で採掘されていましたが、中でも笏谷地区の石質が優れていたことから、笏谷石という名称が付いたと言われていました。

水に濡らすと深い青色に変化し、別名「青石」とも呼ばれるように、薄青色できめが細かいものが上質とされています。また、今後は発掘されることがないと言われていた貴重な石です。

1500年も前から受け継がれてきた笏谷石は、今も敷石や縁石などとして私たちの暮らしの身近にありました。

古くは、古墳時代の石棺や神社仏閣などの石畳などの建材や墓、石仏、戦国時代に入ってから、一乗谷朝倉氏遺跡の井戸や福井城址の石垣、九十九橋などにも使用されていました。今でも福井市内の観光地や歴史スポットにその姿を見ることができます。

常に完成を目指す“未完成”

世界は常に激動しており、工事準備が整った時にイスラエルとハマスの争いが始まりました。

遠い外国のことながら、我々はスエズ運河回避策を模索したり、ポーランドのユニット工法ができる企業を世界中で探し、急遽バンコクでの製造へと変更を余儀なくされました。

そういった苦難もありましたが、関係各社の甚大なる協力があって、予定から半年遅れでようやく完成させることができました。

当施設は、景色に集中頂けるようシンプルな内装を目指しましたが、今後は福井の伝統を使ったアートも追求し、越前和紙などを使うなど、世界中の人へ「福井の良さ」を表現して参ります。

我々は、完成することのない施設として、常に完成を目指して追及して参ります。

本日もご臨席頂いた皆さまには、引続き温かい目で見守って頂けると幸いです。

林 幸二